

# 至学館大学

## 健康スポーツ科学科 小論文 出題意図

この設問は、現代の健康・スポーツの状況を踏まえ、スポーツを手段として社会に貢献する具体的な方法や活動の展開について論理的に考察し、説明する能力をはかるものである。

単にスポーツの効用を述べるだけでなく、現代社会が抱える健康問題やスポーツを取り巻く環境を理解した上で、スポーツをどのように活用し発展させることで、社会的な課題解決や価値創出に繋がられるかという具体的な提言やアイデアを、800字という字数の中で論じることを意図している。

# 至学館大学

## 栄養科学科 小論文 出題意図

今回の小論文の意図は、公的データを根拠に健康課題を論じる力と、身近な場面に落とし込んで実行可能な提案を行う力を評価することを目的としている。

その中で「食事摂取基準(2025年版)」といった信頼性の高い統計を正しく読み取り、現状(過剰摂取)→課題(健康リスク)→解決策(減塩策)という因果関係を、構造的に説明できるか。また、日常生活や家庭、地域活動と結びつけて「実際にできる減塩の工夫」を考案できるか。段落構成が適切で、論理の飛躍がないかを評価することを目的としている。

# 至学館大学

## こども健康・教育学科 小論文 出題意図

今回の小論文の出題は、＜志願者が本学科の受験生に求める学修内容と入試における評価観点＞の「2.子どもへの指導や支援等を科学的かつ効果的に行うために、高等学校までに学修した知識・技能を活用し、さらに様々な見方・考え方を働かせて課題を自ら発見し、解決に向けて探求するための基本的な思考力・判断力を身につけ、考えや成果等を発信するための基本的な表現力を有していること。」を問うものである。

具体的には、「勉強したくない」「やり方が分からない」という児童の気持ちにどう寄り添おうとしているかをみる。また、「あなたの経験を踏まえて」については、自分の勉強に向き合った経験を児童に分かりやすく語れているかをみる。

最終的には、単なる励ましや指示だけでなく、具体的な手の届きそうな提案(スモールステップ、得意分野を伸すなど)ができているかをみる。

# 至学館大学

## 体育科学科 小論文 出題意図

2025年度も各地で酷暑となり、観測史上最高気温を更新する地域が複数報告されている。このような状況を踏まえ、本問題では、学校管理下における熱中症対策の現状を把握するとともに、熱中症から自己の身体をどのように守るかを考察する。また、アドミッションポリシーの①～③すべてに該当する資質を備えた指導者として、熱中症対策をいかに実践すべきかについても検討を求めるものである。

問1では、提示されたグラフを通して、学校管理下における熱中症に対する意識や知識、さらに対応の実態を確認する。

問2では、自己における熱中症対策のあり方を考察するとともに、指導者として求められる資質や実践について評価することを目的とする。